

令和7年7月4日<第247号>

編集・発行 農林水産省東北農政局経営・事業支援部輸出促進課

★トピックス★

<輸出実績・輸出先国の規制に関する情報共有>

- ・【お知らせ】2025年5月の農林水産物・食品の輸出実績について
- ・【注意喚起】輸出された日本産農林水産物・食品の各国・地域における水際検査結果について
(2025年7月)

<その他輸出に関する情報共有>

- ・【お知らせ】輸出の壁を突破するためのサービスを無料公開！輸出支援サービス動画配信について
- ・【お知らせ】米国の関税措置に係る対応について

★発信者からの一言★

なすやオクラなどの夏野菜が美味しい時期になりました。ぜひ栄養たっぷりの夏野菜を食べて、夏バテから体を守りましょう。

農林水産省では、夏野菜料理のレシピを紹介しておりますので、ご参考になれば幸いです。

https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/culture/wagohan/articles/2207/spe7_02.html



【お知らせ】2025年5月の農林水産物・食品の輸出実績について



2025年5月 1214億円（前年同月比+13.8%）

輸出額内訳：農産物 863億円、林産物 64億円、水産物 287億円

■5月の輸出額の増加が大きい主な品目

- 1位 緑茶（+25億円）
- 2位 牛肉（+16億円）
- 3位 ウィスキー（+14億円）

■詳細は下記 URL よりご覧ください。

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/zisseki.html



【注意喚起】輸出された日本産農林水産物・食品の各国・地域における水際検査結果について
(2025年7月)



農林水産省から、主な輸出先国・地域で最近公表された水際検査結果についてお知らせいたします。

昨今の日本産食品の輸出の増加に伴い、輸出先の水際検査において残留農薬や食品添加物の基準不適合並びに証明書の不備等を理由に通関できない事案が見られますので、輸出の際は御注意くださいますようお願いいたします。

○中国（日本産食品の違反件数は全325件中34件、2025年4月）

- ・上海税関におけるものが30件で最多。
- ・違反理由は、「貨物証明書の不一致」が16件で最多、次いで「表示不合格」が10件。

≪注意≫

- ・中国は原発事故等に伴う輸入規制を措置しています。
- ・中国の輸入食品海外製造企業登録管理システム（国際貿易シングルウィンドウ）に登録されている製造者等の名称、住所等の情報と、産地証明書記載内容が正確に一致していないとして通関が認められない事例が発生しています。

証明書申請の際は、登録された情報と正確に一致していることを十分にご確認ください。

○台湾（日本産食品の違反件数は全34件中6件、2025年5月）

- ・違反理由は、残留農薬基準超過3件（ブルーベリー中のピリベンカルブ、さくらんぼ中のピリベンカルブ、そら豆中のフルフェノクスロン）、重金属基準超過2件（冷凍キビナゴ中のカドミウム2件）、食品添加物基準超過1件（ぼん酢中のチアミンラウリル硫酸塩）

≪注意≫

- ・本年3月11日、台湾の残留農薬基準に係る規則が改正され、基準値の見直しがされています。改正後の規定については、下記HPをご確認ください。

（見直し（緩和）の例）

かんしょ/グルホシネート 不検出 ⇒ 0.03 ppm

【台湾衛生福利部 HP】

<https://www.fda.gov.tw/tc/newsContent.aspx?cid=4&id=t623447>

<https://www.fda.gov.tw/TC/newsContent.aspx?cid=3&id=30964>

- ・台湾向けいちごについて、衛生福利部食品薬物管理署は、2026年5月31日までの間、日本産いちごの輸入検査において全ロット検査（検査費用は台湾当局負担）を行う旨発表しています。また、今シーズン、既に残留農薬基準値超過が確認された10件の輸出事業者に対し、日本産いちごの輸入検査申請受理の一時停止（1ヶ月又は3ヶ月）の措置が実施されました。残留農薬基準値超過が確認された一部の事業者に対しては、輸入申請者による検査経費負担での全ロット検査が行われています。

- ・台湾向けかんきつについて、昨年からは日本産かんきつ（きんかん、うんしゅうみかん等）に係

る残留農薬基準値超過が頻発しており、衛生福利部食品薬物管理署は日本産きんかん等「その他生鮮かんきつ類果実」の輸入検査において 2025 年 6 月 29 日まで抜き取り検査の強化(抽出率の引き上げ)を行う旨を発表しています。また、今シーズン、延べ4件の輸出事業者に対し、日本産かんきつ(きんかん、うんしゅうみかん等)の輸入検査申請受理の一時停止(1ヶ月又は3ヶ月)の措置が実施されました。

・台湾向けメロンについて、2025年6月1日から10月31日まで、抜き取り検査の強化(抽出率の引き上げ)を行う旨を発表しています。

【台湾衛生福利部 HP】

<https://www.fda.gov.tw/TC/siteContent.aspx?sid=2409>

台湾をはじめとする輸出先国・地域への青果物の継続的かつ安定的な輸出を推進していくため、輸出に取り組む事業者の皆様におかれては、台湾の残留農薬基準の確認・順守をお願いいたします。

【農林水産省 HP：残留農薬基準値に関する情報】

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/zannou_kisei.html

【農林水産省 HP：青果物の輸出に係る残留農薬基準遵守強化運動の実施について】

https://www.maff.go.jp/j/seisan/ryutu/fruits/f_yusyutu/zanryunouyaku.html

・台湾に輸出された乳幼児向け菓子について、本年1月から5月までに16件の重金属基準違反が衛生福利部食品薬物管理署より公表されています。

○香港(日本産食品の違反件数は2件、2025年5月)

・香港政府プレスリリースによると、違反理由は、ALPS 処理水放出に伴う10都県産水産物の輸入停止関連であり、香港当局のプレスリリースによれば、乾燥魚製品は新潟県で製造された疑いがあり、冷蔵ホタテは宮城県で加工された疑いがあるとのこと。

https://www.cfs.gov.hk/english/press/20250513_11607.html

https://www.cfs.gov.hk/english/press/20250522_11621.html

○韓国(日本産食品の違反件数は2件、2025年5月)

・食品医薬品安全処から公表された違反は2件。違反理由は、カフェインの検出1件(キャンデー類)、リステリアの検出1件(冷凍メカジキ)。

○タイ(日本産食品の違反件数は1件、2025年5月)

・違反理由は、残留農薬基準超過1件(柑橘(しらぬい)中のクロルピリホス)。

《お知らせ》

・タイ FDA においては、食品関連の告示案3本について意見公募(パブリックコメント)を行っています。密閉容器入り食品の告示案は7月9日まで、他告示案2本は8月8日までです。

【ジェットロバンコク HP】

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/06/87cfb112a6e38b52.html>

・タイ FDA より残留有害物質を含有する食品に関する新告示が7月下旬に施行される見込みで

す。詳細は以下よりご確認ください。

【ジェットロバンコク HP】

<https://www.jetro.go.jp/biznews/2025/06/1e416991f3be2c52.html>

タイ側の今後の動きについては、随時情報共有予定ですが、産地や輸出事業者等におかれては、状況を注視いただくようお願いいたします。

○米国（日本産食品の違反件数は4件、2025年5月）

- ・違反理由は、着色料使用の不表示4件（菓子）。

○EU（日本産食品の違反件数は0件、2025年5月）

- ・違反なし。

○豪州（日本産食品の違反件数は1件、2025年4月）

- ・違反理由は、カレイ1件（リステリアの検出）。

《以上》

本レポートは、参照用として、輸出先当局の公表情報を仮訳し取りまとめたものであるため、最終的な内容の確認はその原文において行われるようお願いいたします。また、本仮訳が原文と相違する場合は、全て原文が優先します。

【参考：農水省 HP】

- ・輸出先当局による水際検査結果(輸出先当局の HP へのリンク)

https://www.maff.go.jp/j/yusyutu_kokusai/mizugiwa_kekka.html

- ・諸外国・地域への輸出に関する手続き・制度に関する情報

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_process/index.html

- ・植物検疫：輸出に関する情報

<https://www.maff.go.jp/pps/j/search/detail.html#yusyutu>

- ・動物検疫：日本から輸出される食肉等の受入れ状況一覧

https://www.maff.go.jp/aqs/hou/require/export_meat_list.html

※家きん肉や食用殻付き卵等については、日本国内における高病原性鳥インフルエンザ発生のため一部輸出できない国・地域があります。詳細は動物検疫所の HP を御確認ください。

https://www.maff.go.jp/aqs/topix/exkakin_teishi.html

【お問合せ先】 -----

以下の農水省 HP を御参照ください。

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_soudan/



【お知らせ】輸出の壁を突破するためのサービスを無料公開！輸出支援サービス動画配信について



GFP は、皆様の輸出課題の解決に貢献するオンラインイベント「輸出支援サービスラボ」を開催いたします！

「海外に販路を広げたいが、何から手をつければいいのか分からない」「輸出手続きが複雑で、時間もコストもかかっている」「日本の高品質な商品を、鮮度を保ったまま届けたい」このような輸出に関する課題をお持ちではありませんか？

本イベントでは、これらの課題解決に貢献する革新的なサービスを持つ企業を、オンデマンド形式で紹介いたします。

【イベント概要】

https://www.gfp1.maff.go.jp/uploads/2025/06/export_support_services-1.pdf

6月30日（月）より、各分野の専門企業のサービス紹介動画を、GFP コミュニティサイトにて一斉公開しております。輸出ビジネスを加速させるヒントがありますので、是非ご確認ください。

《本イベントで得られる3つのメリット》

- 1 【最新ノウハウ】輸出 DX、規制対応、鮮度保持、物流などの専門分野の最先端サービスをまとめて知ることができます。
- 2 【課題解決】多様なサービスの中から、自社の課題に合った具体的な解決策のヒントが見つかります。
- 3 【ビジネスチャンス】動画視聴後、関心のある企業へサイト上から直接コンタクトが可能。新たなビジネスパートナーと繋がるチャンスです。

《視聴方法》

以下の特設ページより、すべて無料でご視聴いただけます。ご登録は不要ですので、お気軽にご覧ください。

■動画の視聴は以下リンクをご参照ください。

<https://www.gfp1.maff.go.jp/news/export-support/>

6月30日（月）からは、「輸出 DX」をテーマに以下のとおり配信しています。

《参加企業一覧》

■株式会社クロスリーチ【シッパス-貿易実務はもっとラクでいい】

・サービス概要：

ShipPass（シッパス）は旧来の貿易実務のあり方を変え、「誰でも、簡単、正確に」を実現するご提案をさせていただきます。

これまでの”営業”や”書類作成”のあり方を抜本的に変え、複雑で多岐にわたる輸出業務に掛かる時間を大幅に短縮し、業務プロセスを効率化します。

食品ラベル生成など、食品固有の業務課題の解決にも活用することができ、中小・零細企業様でもご利用しやすいよう、導入工数（費用・初期導入に掛かる時間）も低く、ネットにつながる環境があれば、いつでも/どこでも、PC に不慣れな方でも容易にご利用いただけるツールです。

- ・動画リンク：

<https://www.youtube.com/watch?v=dnN09fppbKg&list=PLQGujoVyA1YmrWqDTGnlp6qAMCMZB8zZ3&index=5>

■株式会社 BorderTech 【海外販路開拓を加速！メタバース展示会「JVREX Food」】

- ・サービス概要：

JVREX Food は、タイ・台湾・シンガポール・香港・アメリカのバイヤー5,000名超が登録するメタバース展示会です。これまでに300社以上の日本食品企業が出展し、多くの商談・成約を実現。多言語 AI 通訳やダイレクトアプローチ機能も完備し、低コストで効率的な海外販路拡大を支援します。

- ・動画リンク：

<https://www.youtube.com/watch?v=O9MIGSYf6aQ&list=PLQGujoVyA1YmrWqDTGnlp6qAMCMZB8zZ3&index=3>

■株式会社 KYNOVUS【海外 2000 万社 3 億 7000 万人のデータベースを活用した海外販路開拓事例】

- ・サービス概要：

海外 2,000 万社・3 億 7,000 万人のデータベースを活用し、現地の業界・職種・企業規模などに応じた最適なターゲットを抽出、アプローチ。代理店任せでは得られない「顧客の声」を直接拾いながら、売れる国・売れる相手・売れる切り口を発見し、実行まで一貫して支援する海外販路開拓サービスです。

- ・動画リンク：

<https://www.youtube.com/watch?v=l1eTDKhAqEI&list=PLQGujoVyA1YmrWqDTGnlp6qAMCMZB8zZ3&index=2>

■株式会社 WeAgri 【海外販路支援サービス『コネクトアジア』のご紹介】

- ・サービス概要：

シンガポール向け輸出支援サービス“コネクトアジア”は、日本の逸品を東南アジアのハブへ届ける越境プラットフォームです。

1 オーチャードロード一等地店舗×自社 EC でリアル&デジタル露出

2 東京・SG 両拠点の専門窓口がワンストップ対応

3 売場連動 SNS/KOL プロモで購買意欲を最大化

4 延べ 300 社の成功ノウハウを注ぎ込み、初輸出でも低コストで現地のファンや商流を創出します。

- ・動画リンク：

<https://www.youtube.com/watch?v=dSu82TZGWoc&list=PLQGujoVyA1YmrWqDTGnlp6qAMCMZB8zZ3&index=1>

■umamill 株式会社【海外バイヤーが利用する日本食に特化した B2B 輸出プラットフォーム】

・ サービス概要：

海外バイヤーが利用する日本食に特化した B2B 輸出プラットフォーム「umamill(ウマミル)」です。

<umamill の特徴>

- ・ 出展掲載料金 0 円
- ・ サンプル輸出料 1 万円から輸出に挑戦可能
- ・ 輸出時は umamill が国内納品にて円決済で買取り
- ・ umamill が商談や輸出可否判断、通関等の貿易実務を対応
- ・ 全温度帯(冷凍、冷蔵、常温)取り扱い可能
- ・ 動画リンク：

<https://www.youtube.com/watch?v=ljLE36VrdX4&list=PLQGujoVyA1YmrWqDTGnlp6qAMCMZB8zZ3&index=4>

【今後の配信テーマとスケジュール】

動画は以下のスケジュールで各テーマをメールマガジンや SNS で順次ご案内してまいります。

- ・ 7 月 07 日（月）～：規制対応
- ・ 7 月 14 日（月）～：鮮度保持・温度管理技術
- ・ 7 月 21 日（月）～：物流サービス・現地販売支援・貿易保険

【連絡先】-----

GFP 事務局

営業時間：平日 10:00～18:00

担当：土井・豆田・小栗

電話：090-1915-1603（豆田）090-5715-6703（土井）

メール：Agri_Exportation★JP@accenture.com

（お問い合わせの際は「★」を「@」に変更ください。）



【お知らせ】米国の関税措置に係る対応について



農林水産省は、米国の関税措置の影響を受ける農林漁業者・食品事業者等に対して、輸出向けの生産転換や販路確保等を支援する補助金の優先採択等の措置を検討しています。詳細については以下リンク先をご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/250408.html>

GFP へ参加しませんか

GFP とは…

Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Project の略称であり、農林水産省が推進する日本の農林水産物の輸出プロジェクトです。

○GFP に登録すると 6 つのサービスを利用できます。

輸出診断・訪問診断、会員向けコンテンツ、商品リクエスト、グローバル産地づくり推進事業、交流会・セミナーの開催、情報発信

H P : <http://www.gfp1.maff.go.jp/>

GFP_Facebook : <https://www.facebook.com/maff.gfp/>



農林水産物等輸出相談窓口・問合せ先



東北農政局では、東北地域の農林漁業者等からの農林水産物等の輸出に関する相談を受け付けております。

相談窓口：東北農政局経営・事業支援部輸出促進課

住 所：仙台市青葉区本町 3 丁目 3 番 1 号（仙台合同庁舎 A 棟）

電 話：022-221-6402

H P : <https://www.maff.go.jp/tohoku/index.html>

<農産物・食品等の輸出関連情報>

<https://www.maff.go.jp/tohoku/kihon/yusyutu/index.html>

<農林水産物・食品の輸出に関する相談窓口>

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_soudan/

☆メールマガジンの配信停止や、メールアドレスなどの会員情報の変更、パスワードの再発行は下記サイトで手続きをお願いいたします。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

☆東北農政局や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。配信を御希望される方は、御登録をお願いします。

<https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>

